



特集

アートがまちに やってくる

この夏、中央区をはじめ市内各所で「札幌国際芸術祭2017 (SIAF2017)」が開催されます。テーマは「芸術祭ってなんだ?」。そもそも「芸術ってなんだ?」「アートってなんだ?」と思っている人もたくさんいるのではないのでしょうか? 今回のゲストディレクター大友良英さんは、この問いに対し「ガラクタの星座たち」というサブテーマを掲げました。ガラクタや見向きもされなくなったものたちが新しい姿になって輝き出す、そんな芸術祭。「アートって敷居が高くて、なんだか」という人の敷居をグッと下げて、あらゆる人にウェルカムな芸術のお祭りが始まるのです。今回は多くの市民が参加して、何かを創り上げています。アーティストも、市民も、共振り、共鳴しながら、ガラクタたちによる化学反応を起こそうとしています。アートは、どこにでもある。何でも、アートになる。きっとSIAF2017を観た人は、そう思えるのではないのでしょうか? 今回のまちのモトのテーマは「アートがまちにやってくる」。アートの入口は、すぐそこ、誰にでも開かれています。